

令和4年度 第5回金谷区地域協議会

次 第

日時：令和4年7月27日(木)午後6時～
会場：福祉交流プラザ 第1会議室
(全体：1時間程度を予定)

1 開 会

2 議題等の確認

3 議題

(1) 金谷区の地域活性化について

4 その他

5 事務連絡

6 閉 会

今後の議論に向けた調査結果

○調査概要

調査対象者	金谷区地域協議会委員 15 人
調査期間	令和 4 年 7 月 11 日～21 日
回答提出者数	14 人
回答率	93.3%

○調査項目集計結果

- 1 令和 4 年度に採択した 14 件の地域活動支援事業の中で、令和 5 年度以降も継続して実施してほしい事業の記入欄に○を記入してください。(複数回答可)

○の数	整理No.	事業名
14	2	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業
8	1	滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業
6	4	第 3 回キャンプ体験教室 地域観光事業
6	6	ミニ新聞「まめでやったけえ」発行継続及び冊子増刷・活用によるきずな拡大事業
6	11	大貫 4 町内合同避難訓練・防災体験事業
6	13	金谷若者まちづくり参画事業
3	5	毘沙門天案内看板及び滝寺砦周辺の整備並びに古道の整備事業
2	3	安全安心見守り防犯活動事業
2	8	平山で花&夢いっぱい咲かせよう運動事業
2	10	バレーボール文化の普及及び青少年健全育成事業
2	12	金谷区飯支部の交通安全確保事業
1	7	金谷区（灰塚駐在所管内）の交通安全確保事業
1	9	「金谷山とレルヒ」～レルヒ少佐と心かよわせた仲間たち～事業
0	14	親子の「いきるチカラ」向上事業

- 2 令和 3 年度以前に採択した地域活動支援事業（令和 4 年度に採択した事業を除く）の中で、令和 5 年度以降も継続して実施してほしい事業があれば、事業名をご記入ください。(複数回答可)

- ・里道（旧後谷線）の整備事業（5 人）
- ・金谷山太鼓継承・振興事業（3 人）
- ・金谷地区児童のスポーツ振興及び子どもの健全育成（1 人）
- ・継続的に草刈り、ゴミ拾いなど環境保全を行ってきた活動（1 人）

- 3 金谷区の地域活性化に結び付くと考えられるアイデアやヒントなどをお持ちの方は、自由に記載してください。タイトルやキーワードのみでも構いません。

※委員のアイデア等は、受付順に記載しています。

委員A

金谷区のシンボルとも言える『金谷山』を中心とした地域活性化

ポイント：道の駅を整備 それを核とした 周辺既設施設の更なる活性化

金谷地区公民館との連携

ヨーデル金谷との連携

BMX場・金谷山公園とのつながり

周辺の生徒・学生との連携（作物販売や職業体験）

農家産直市場

子育て・こども広場 ☆子育てママが運営STAFF

ふるさと納税

○上越市内 各区が独自のふるさと納税品を考える。

単に商品を集める事ではなく、地域の付加価値を探る契機ともなる。

○母校支援

委員B

○ひとくちに金谷地区といっても平素の生活実態が分かれており、ある事業で全体に元気が出るとは限らない。

○昨年までの事業の中には、市の行政が本来、直接やる事業が二、三あった。

○事業の中には、市が発案して、関係する地域の意見を聞いて地域団体の意見書を三者で検討した方がよいのがあった。

委員C

金谷区の活性化について

（箇条書きですが思いつくままです。）

○世の中、何となく閉塞感が横たわっています。

※コロナ禍、戦争・内戦、温暖化、物価高、高齢化、少子化、気候変動、海洋汚染に原発ゴミ、食糧問題にエネルギー不安、格差社会、健康不安等々

○こんな中で何が一番大切か…、国の政策や方向性は一番ですが、そこはその筋に任せることにして、私たちにできることは…と考えます。

○身の回りのこと、地域の問題点。私の周りでは（高齢化の問題）が一番、通院、介護、認知、孤立化等々。

○でも、よく考えれば（少子化＝若者の問題）が一番のように思います。

○観光も安心安全も大切ですが、その基となるのは「人」です。

○人への投資が何より肝心かと思えます。特に（若者と子ども）だと思えます。

○「若者と子どもたちが安心して暮らせる環境づくり」に力を入れるべきかと。

○何より「若者が集まれる場」づくり。コロナ禍で、若い人が触れ合う機会も、顔さえ満足に見られない環境はかわいそう、何とかありませんか？このままじゃあと十年は続きそう！

○それから「食べていける環境」づくり。もちろん「職業の確保」が前提ですが。パンデミックによる都市封鎖下、ウクライナ戦下、要は食べ物と、冷暖房の確保。燃料の高騰のみならず、お金を出しても買えないかも…という不安。今、ギリギリのところで生活している若者にとっては死活問題。

(結論からの提案です。)

- ・上越市は、中山間地の農地が山ほど欠伸しています。ここの活用を提案します。
- ・先日、中ノ俣では、県道（畑のそば）と家の庭先にクマを見た人がおります。鹿にカモシカ、猪、タヌキ、ハクビシンは常態化。住宅の周り、村の周りは草やぶ状態です。
- ・若者（に限らず）に空き家をシェアハウスの的に提供し、空き地を耕して食糧自給と、薪ストーブ中心の燃料自給（放置された山林や、手入れのできてない山が山ほど！）に貢献してもらえないでしょうか。もちろん基礎的な支援は必要ですが、若者の交流の場もでき、鳥獣被害対策にもなります。

○世の中、何もかもデジタル社会ですが、暮らしの基本はアナログ。

○いずれ、（遠くない将来）食料と燃料は大問題になるでしょう。そういう意識を醸成してもらうためにも、先駆的な取組になるのではと考えます。

○金谷区から発信できたら嬉しいです！

委員D

1 金谷区地域協議会として、これから何をすべきかを考えたとき、「金谷区観光・史跡探訪の構築」を検討課題としたらいかがでしょうか。

2 金谷区の重要観光拠点として

- (1) 正善寺ダム周辺（アジサイロード等含む）
 - ・正善寺アジサイロードの通年環境整備経費
- (2) 金谷山公園周辺（スキー発祥記念館等含む）
 - ・会津墓地の通年環境整備費経費
- (3) 儀明川ダム周辺（これからの環境整備計画等）
 - ・儀明川ダムの景観・誘致等の未来計画図の構築
- (4) 南葉高原周辺（観光客誘致等に関する案件）
 - ・南葉高原アクセス道路等の整備費

*観光に係る維持管理通年経費の算出並び予算化を図るとともに、観光ルートの構築を検討する。

3 金谷区の史跡・自然の維持管理並び調査

- (1) 金谷北部地区（滝寺不動尊・滝寺砦等）
- (2) 金谷区中部地区（会津墓地・医王寺等）
- (3) 金谷区北部地区（旧後谷線整備・灰塚国蔵菩薩像等）

*金谷区に存在する「上越市文化財」等の洗い出しと維持管理通年経費の算出並び予算化を図るとともに、観光ルートの構築を検討する。

4 その他の問題点

- (1) 上越市における「地域協議会」の立場（権限）の明確化
- (2) 金谷区における各種団体との連携方法（運営団体、維持管理団体、町内会長、市議会議員等）
- (3) 金谷区地域協議会で活用できる調査費や日当等の予算獲得。

これらの（2～3）の作業を同時進行する場合は、現組織体制では困難であることは顕著である。したがって、全く別組織として再出発するか長期間にわたって段階的に遂行するかである。

委員 E

金谷地区公民館の地域協議会の取組について

金谷地区公民館は、金谷区全体に関わる大きな問題です。付帯事項等が反映されるように振興協議会、町内会長会の組織に金谷区地域協議会の代表を送り、市側との交渉を一本化すべきと考えます。

委員 F

レストランヨーデル金谷の近傍にクラフトビール工房を！

金谷区は、「スキー発祥の地」金谷山を中心に、歴史と自然豊かな地域です。県営グラウンドが、弥彦に続き二番目に建設された場所であるほか、山麓には国宝薬師如来坐像が安置されている薬師堂のある医王寺（平安末期 1087 年建立）や、明治の自由民権運動の足跡を記す「高田事件碑」、戊辰戦争での幕軍、官軍双方の墓所などがあり、歴史に触れる格好の場所ともなっています。

その金谷山麓には、食をテーマとした事業を通して、市民の財産ともいえる金谷山の緑豊かな自然を活用し、地域農林水産業の活性化を図ろうと約 30 年前から「レストランヨーデル金谷」が営業しています。ヨーデル金谷は、上越の食材を使った本格フレンチからカジュアルな洋食まで幅広いメニューとゆっくりと過ごせる空間づくりで、金谷地域の魅力を発信しつづけています。

さて、このヨーデル金谷の西側には、地元の良質な水を活用し職人が手作りするビールを生産する「クラフトビール工房」を建設する計画が、かつてありました。この計画は、発案から順調に推進され、基本設計も終わり工事発注のための入札が行われる寸前までこぎつけましたが、計画を推進していた市長が選挙で交代したため、夢と潰えさりました。

しかし、酒造りでは日本有数の伝統を持つこの地では、クラフトビール工房の建設は、地域振興に大きな力を発揮することは間違いありません。また、レストランとの連携で、生産したビールを大いに広めることも可能です。

一方、上越市は、市が運営する観光施設等で赤字になっている施設を廃止あるいは売却する方向のようであり、ヨーデル金谷も 3 年後には存廃を含めた検討対処施設になっていると聞きます。しかし、ヨーデル金谷は、地域にとって欠くことので

きない施設であり、単純な経済問題のみでなくしてはなりません。また、市民の憩いの場所は、市が運営し、財源を確保して市民サービスを行うことが行政の責務であり、住みやすい町づくりにつながります。

そこで、クラフトビール工場の建設でレストラン経営をより活性化させ、双方の相乗効果で地域の活性化を期することが可能であることから、クラフトビール工場の建設を希望します。

委員 G

金谷区には南葉山、金谷山があり、自然にあふれる地区なので、それを生かした事業ができるといいのではないかと思います。具体的なアイデアはなかなか出ないのですが（すみません）。

防災対策チームが立ち上がっていることも考えて、各町内での避難訓練に今までとは違うことを取り入れるとか、小さな集まりのときについでに防災の話をするとか、年間通して防災に触れる機会があるといいと思います。

委員 H

地域活動支援事業に採択されているものをそのまま継続することも大切だが、発展させていくことも必要。一つ一つの活動自体は既に素晴らしいものなので、複数の団体が連携していくことができれば活動に広がりが出てさらに発展していくのではないかと思う。

委員 I

金谷山公園や区内にある自然公園の利用促進

近隣、飲食店との提携による手ぶらで行けるピクニックやBBQプラン
→ヨーデル金谷などの利用促進にもつながる。

令和5年度予算を見据えた今後の自主的審議の流れについて（案）

①地域活動支援事業提案団体との意見交換会

候補日：8月19日（金）、20日（土）

意見交換先：第5回地域協議会で継続実施が望ましいとした事業の提案団体

意見交換のテーマ：地域活動による金谷区の活性化、課題解決について

②第6回金谷区地域協議会

8月24日（水）18：00～福祉交流プラザ

内容：意見交換会を踏まえた自主的審議に関する協議（自主的審議事項を決定）、元気事業や意見書に関する協議

③第7回金谷区地域協議会

候補日：8月31日（水）

内容：元気事業や意見書に関する協議（元気事業等の素案を決定）

④地域活動支援事業提案団体との協議

候補日：9月7日（水）

協議先：自主的審議事項や元気事業等の素案に関連する提案団体

協議内容：元気事業等の素案を基に、実現性や実施主体について協議

⑤地域活動支援事業提案団体との協議

候補日：9月14日（水）

協議先：自主的審議事項や元気事業等の素案に関連する提案団体、市関係課

協議内容：元気事業等の素案を基に、実現性や実施主体、元気事業の提案書の内容について協議

⑥第8回金谷区地域協議会

9月28日（水）18：00～福祉交流プラザ

内容：元気事業の提案書に関する協議（内容を決定）

令和4年7月21日

金谷区町内会長 各位

金谷区地域協議会
会長 村田 敏昭
(事務局：南部まちづくりセンター)

大貫4町内合同避難訓練の見学会について（ご案内）

日頃から、当協議会の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当協議会では、令和2年度から「金谷区の防災機能強化について」、自主的審議事項として協議しています。

この度、三年に一度実施される大貫4町内合同避難訓練で、当協議会が検討した防災機能強化を盛り込み、体験型の避難訓練とすることとなりました。

つきましては、貴町内会の今後の防災活動の参考としていただきたく、下記のとおり見学会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 8月28日（日）午後1時30分から（雨天実施）
- 2 会 場 高田西小学校 体育館（入口は、体育館南側と東側です。町内会受付をお通りください。）
- 3 内 容 起震車、非常食、濃煙、段ボールベッドの組立・解体の各体験会場を係の者がご案内します。
- 4 その他
 - ・参加の可否を別紙連絡票または電話等により、8月8日（月）までに南部まちづくりセンターへお知らせください。
 - ・見学者数は、各町内会お一人まででお願いします。
 - ・出席された方に当日、アンケートをお願いし、後日に提出いただく予定としています。
 - ・福祉交流プラザの駐車場をご利用ください。

上越市自治・市民環境部自治・地域振興課
南部まちづくりセンター 担当：難波
上越市寺町2丁目20番1号
福祉交流プラザ 3階
電話：522-8831 FAX：522-8832
E-mail nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp